

表4. 年金改革の財政効果: 試算結果

	改革前	改革後	変化額
オプション・バリュー+モデル I			
社会保障資産(グロス)	2,912	2,188	-724
保険料+税	664	689	25
保険料	444	459	15
税	220	230	10
社会保障資産(ネット)	2,249	1,499	-750
オプション・バリュー+モデル II			
社会保障資産(グロス)	2,838	2,123	-715
保険料+税	639	764	125
保険料	425	504	79
税	214	260	46
社会保障資産(ネット)	2,199	1,359	-840
ピーク・バリュー+モデル I			
社会保障資産(グロス)	2,909	2,265	-644
保険料+税	657	671	14
保険料	437	448	11
税	220	223	3
社会保障資産(ネット)	2,253	1,594	-659
ピーク・バリュー+モデル II			
社会保障資産(グロス)	2,839	2,192	-647
保険料+税	639	722	83
保険料	425	478	53
税	214	244	30
社会保障資産(ネット)	2,200	1,471	-729

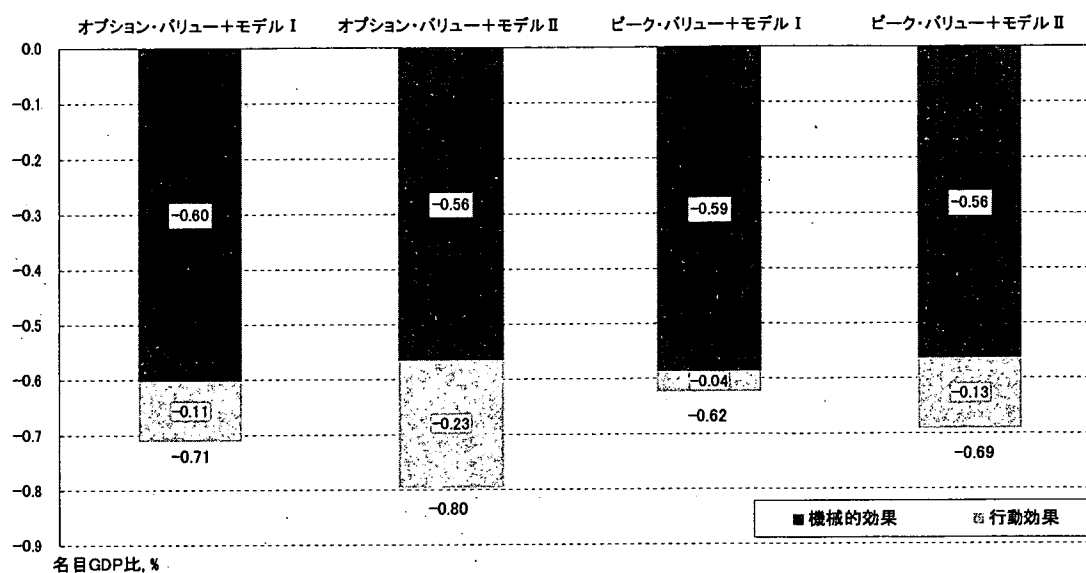
(注) 厚生年金の定額・報酬比例部分をいずれも65歳に引き上げ、報酬比例部分の乗率を5%削減した場合。

表5. 年金改革の1人当たり財政効果: 試算結果

	改革前	機械的効果	行動効果	総合効果
オプション・バリュー+モデル I	2,249	-634 [84.6]	-115 [15.4]	-749 [100]
オプション・バリュー+モデル II	2,199	-595 [70.8]	-245 [29.2]	-840 [100]
ピーク・バリュー+モデル I	2,253	-619 [93.9]	-40 [6.1]	-659 [100]
ピーク・バリュー+モデル II	2,200	-595 [81.6]	-134 [18.4]	-729 [100]

(注) 表4と同じ。[]内の数字は総合効果に占める比率(%)。

図3 年金改革の財政効果:対名目GDP比



(注)表4と同じ。